

計画的な就農の支援

1 対象

青年等就農計画の認定を希望する就農希望者及び就農5年未満の新規就農者（就農時50歳未満）

2 背景

近年の新規就農者は、農業高校や農業大学校等で知識・技術を習得した新規学卒者に比べ、一般企業からのUターンや他産業からの新規参入者の割合が増加している。また、新規就農希望者についても、新規就農を希望する背景は多様化しており、農業に関する知識・技術が不十分な状態である者も多い。そのため、新規就農希望者が農業に関する知識・技術を得て目標を持って就農し、早期に経営安定を図るために就農相談対応と就農計画の作成支援が必要である。



図1 認定研修機関（はつらつ農業塾）での入塾説明会（稲沢市内）

3 活動の内容

(1) 農起業支援センターでの就農相談

就農相談170件（個人52人（延べ167回）、企業2社（延べ3回））に対応し（令和7年1月末時点）、農業で利益を産み出すことは簡単ではないこと、就農前に十分な研修を受け、技術・知識を習得する必要性を説明した。

既に研修を受けている研修生には、農地確保、資金利用等、就農に向けた準備の支援を行った。

(2) 認定研修機関等と連携した就農支援

農起業支援センターへ相談に訪れた就農希望者のうち、就農地や栽培品目が決まり、研修を希望する者には、管内の認定研修機関等を紹介した。令和6年度は10名が自分の希望する品目の研修を開始した。また、研修機関や就農予定市町の担当者と情報交換を行い、研修生の栽培技術の習得状況や農地確保の状況等を確認し、就農に向けたスケジュールを調整した。

(3) 計画書の作成支援

青年等就農計画の認定を希望した20名に就農計画の作成を支援し、16名が経営計画を作成できた。



図2 認定研修機関（TOGO GREEN WORKS）での研修状況の確認（東郷町内）

4 活動の成果

青年等就農計画の認定を希望する就農希望者及び就農5年未満の新規就農者（就農時50歳未満）20名のうち16名が就農計画を作成できた。

次年度以降も、青年等就農計画の認定を希望する新規就農者（就農時50歳未満）に対し、引き続き、計画作成の支援を行う。